

夏期講習中に偏差値10アップを目指そう

－「授業」、「音読」、「書き取り」、「問題練習」で偏差値10アップを実現しよう－

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：夏休みに成績を大幅に上げるにはどうしたらよいですか。

A：(林 明夫。以下略)「自覚」を持って、夏休みを過ごすことです。

Q：「自覚」を持つとは、どういうことですか。

A：この夏休み中に、自分の得意分野をさらに伸ばし、不得意分野を克服することによって、何が何でも成績をアップしようと強く決意することです。具体的に言えば、「夏期講習中に偏差値10アップを目指そう」と固く決意することを開倫塾ではお勧めします。

Q：「夏期講習中に偏差値を10アップすること」は可能ですか。

A：可能です。誰にでも十分可能です。

Q：そのためには、どうしたらよいのですか。

A：「理解」→「定着」→「応用」という「開倫塾の学習の3段階理論」を徹底的に実行していただくことです。

Q：「理解」するには、どのようにしたらよいのですか。

A：勉強すべき内容を「うん、なるほど」と「納得」し「腑(ふ)に落ちる」まで「理解」するには、「夏期講習中の授業を熱心に聴く」ことです。おしゃべり、忘れ物、遅刻、欠席、早退は、「理解」を妨げますのでやめましょう。また、よくわからないことがあれば開倫塾の先生に遠慮なく質問して、解決してくださいね。

Q：開倫塾の夏期講習に出席すれば、偏差値は10アップするのですか。

A：夏期講習の授業に出席するのは、「うん、なるほど」と「理解」するためですから、ただ単に授業に出ているだけでは、一気に偏差値を10アップさせることは難しいと思います。(少しはアップするでしょうが……)

Q：では、どのようにすれば偏差値の10アップが図れますか。

A：授業中に、一度「うん、なるほど」と「理解」した内容を、忘れないようにすべて正確に身に付けること、つまり完全に「定着」させることです。授業に出るだけでは、「うん、なるほど」と一

度は「理解」してもすぐに忘れてしまいますから、忘れないように確実に「定着」させることが必要になります。

Q：「定着」させるには、どのようにしたらよいのですか。

A：「定着のための作業」をお勧めします。

Q：「定着のための作業」のやり方を教えてください。

A：3つあります。

1つは、「音読」です。教材を何回も何十回も「音読」して、一度「理解」した内容を何も見ずにスラスラ正確に言えるまでにしましょう。

2つめは、「書き取り練習」です。音読し、何も見ないで正確にスラスラ言えるようになったことを、「正確に楷書で書ける」まで「書き取り練習」をしましょう。

3つめは、「問題練習」です。授業中に学習した「問題」をもう一度解き直しましょう。確実に解けるようになったら、問題を見た瞬間に条件反射で正確に解答できるようにしましょう。

Q：随分大変そうですね。

A：これら3つの「定着のための作業」は一見大変そうですが、一度「うん、なるほど」と「理解」した内容を覚える作業をするだけなので、誰にでも必ずできます。

Q：どのようにしたらよいですか。

A：「定着のための作業時間」を確保する工夫をすることです。ファミコン、テレビ、携帯電話、マンガ、悩むことなど「時間のかかること」をできるだけ少なくすること、これが「定着のための作業時間」を確保するコツです。

Q：わかりました。最後に一言どうぞ。

A：偏差値を10アップさせることは、合格できる学校を大幅に増やすことに直結します。また、偏差値を上げることで、人生における選択肢(せんたくし)を大幅に広げることができます。

自分の未来は自分の力で切り拓(ひら)くことを、受験勉強を通して学びましょう。睡眠をとる時間以外はすべて机に向かうくらいの気持ちで取り組み、この夏休みに偏差値を10アップさせましょう。

開倫塾では、規則を守る人にものみ、空いている教室を自習室として無料で開放します。ただし、防犯のため、夜10時半以降は全員帰宅してください。10時半以降、開倫塾に居残ることは「絶対禁止」です。必ずお守りください。